

メディアスエフエム第107回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和7年10月2日(木)

2. 場 所

知多メディアネットワーク(株)本社 21 会議室

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

出席委員) 大西彰、片山麻有、関雅夫、高井智広、森岡厚喜、山森英津子

欠席委員) 欠席なし

4. 議 題

(1) 近況報告

- ・活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議

5. 審議内容

番組審議 9月1日放送 「歴史資料から読み解く関東大震災 」

概 要：過去に関東大震災が発生し、現在は防災の日となっている9月1日に、今大河ドラマなどでも話題の“吉原”の歴史資料から関東大震災を読み解く番組。

内 容：地震学者 武村雅之さんインタビュー ほか

関 委員 /・吉原とはどんなところ、という話で、600万人通ったというデータに驚いた。

- ・安静地震と関東大震災の比較がおもしろかった。
- ・吉原者としてさげすまれていたことも勉強になったし、今の価値観と当時の価値観の違いが納得できた。
- ・エピソードとしては面白かったが、タイトルには合わないと感じた。
- ・数字が出てくると信憑性が高く感じる。

- 高井委員 / ・安静地震の閉じ込めの解釈はおもしろかった。
・資料の読み込みから現代の SNS への警鐘は説得力があった。
・自身の繋がりから岩手県釜石市の話が出たりして、流れとしてまとまりはよかった。
・防災・減災の視点で聴くと弱いと感じた。
- 片山委員 / ・吉原の話が興味深かったが、火災で死者が多かったことは現代にも通じると思った。
・関東大震災よりも女性の働きがメインに聞こえたが、震災後どのように生きていったかが興味深かった。
- 山森委員 / ・普段興味がないジャンルではあるが、吉原の歴史や火災の状況は新鮮だった。
・リスナーの立場からすると、今につながる防災の情報がほしかった
- 森岡委員 / ・間で曲が入らないのがよかった。(好きな曲とかだと聞いてた話の記憶が途切れてしまうため。)
・知多半島と新吉原の関わりにつなげるとしたら今回の内容で良いのかと感じた。
・吉原の名前や地理なども勉強になり、聞き続けられる番組作りがされていた印象だった。
- 大西委員 / ・吉原に関する番組としてなら面白かったが、タイトルと内容が違うと感じた。(何を伝えたかったか分からなかった。)
・あえて吉原という言葉使うのが疑問に感じるし、防災の観点でみると違和感があるように感じる。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページ (URL) への掲載 (2026 年 1 月 16 日)

以上

文責：地域情報部 大賀鉄也